

## 「君の椅子」プロジェクト、初の植樹とフォーラム



3人で札幌市内から来町。

「2年前、子供の誕生記念に買いました。今回の案内をもらった時、ぜひ参加したいと思って来ました。一緒に成長を見守れたら…」。

植樹後、幼児センターで開いたフォーラムでは、製作者の一人として出席した200

6年、2009年モデル担当のアートクラフトパウ工房、大門巖さんが「20年経ったら君の椅子の成人式をやってもらいたい」と未来に夢を託しました。

君の椅子広域連携実行委員会（会長・松岡市郎町長）が町内で初めての「君の椅子の森」植樹と「君の椅子フォーラム2012」を開きました。東3号北6線の町有林の一角約50アールを「君の椅子の森」と命名。10月28日、そのうちの約10アールで植樹を行いました。

椅子のプレゼントをもらった町民と、町外の個人で「君の椅子倶楽部」に入会して椅子を購入した東京、札幌などの家族ら約50人。広域連携実行委員会に入っている剣淵、愛別、東神楽3町から佐々木智雄、矢部福二郎、山本進の各町長も参加し、椅子の材料となるミズナラ、クルミ、ダテカンバ、イタヤカエデ4樹種の苗木を植えました。亀田守敏さん(43)は、妻美保さん(41)、すみれちゃん(2つ)の一家

## 初開催のパンフ・フィルム・フェス東川大好評

11月17日、農村環境改

善センターで「パンフ・マウンテン・フィルム・フェスティバル」の東川映画祭が開かれ、会場いっばいの観客が短編ドキュメント映画の迫力と映像美を楽しみました。



道北地方初の映画祭で、同映画祭実行委（青木倫子実行委員長）が自主上映しました。

大自然に挑む姿を記録した5本の短編アメリカ作品。野宿とヒッチハイク、

ボリユーシヨンス・ツアー」など、信じられない挑戦をいとも簡単にこなす男たちの姿。

大画面の美しい映像と臨場感ある音の広がりを満喫しました。

## 秋の総合文化祭、日ごころの活動成果が一堂に

11月3日、農村環境改善センターで第42回町民総合文化祭の芸能発表会が開かれました。

10月20日から文化ギャラリー会場で先行して開いた作品展示と併せ、日ごころの活動ぶりを披露する年に一度の大舞台。毎年出演して子供たちに人気の旭川福祉専門学校は人形劇「エルマーの冒険」とオペレッタ「赤ずきん」、ハンドベルの演奏を披露しました。手作りの舞台は子どもたちに大人気。

ステージ下から夢中になって食い入るように見入っていました。町内各小、中学校のステージと詩吟、カラオケ、日本舞踊など35団体も登場。郷土料理研究会の手作り料理作品の発表、試食茶会コーナーもにぎわいました。

文化ギャラリーでは、書画、切り絵、手工芸、菊花・盆栽、編み物、竹細工、絵手紙、手工芸など260人、約380点の力作、作品がずらり。町内児童生徒の作品と併せてにぎわいました。

